

組換えウイルスdNMPキナーゼ

Cat. No. CEGZ-6406

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 dTMP、dGMPおよび特定のヌクレオチドアナログに γ として活性を有する、ウイルス由来の組換え中温性デオキシヌクレオシドリン酸キナーゼ。

用途 デオキシヌクレオシドリン酸および選 γ されたヌクレオチド類似体の研究用途ならびにin vitroリン酸化用。

別名 dNMPK; デオキシヌクレオシドリン酸キナーゼ; ATP: デオキシヌクレオシドリン酸ホストランスフェラーゼ

製品情報

種 ウイルス性

由来 組換え大腸菌

形態 液体

EC番号 EC 2.7.4.13

CAS登録番号 37278-20-9

分子量 28.6 kDa

特異性 dTMP、dGMP、および一部のヌクレオチドアナログ; ATPおよびdATPはドナーとして作用し得る。

基質 ATPまたはdATP; dTMP; dGMP

反応 $ATP + dTMP = ADP + dTDP$ $ATP + dGMP = ADP + dGDP$

備考 中温性酵素。E. coliにおいて組換えタンパク質として発現させ、His6タグを用いたアフィニティクロマトグラフィーにより精製。最適な反応時間および酵素濃度は、基質により変動する場合があります。

プロトコル 70 mM Tris-HCl、pH 7.6 (37°Cにて) 10 mM MgCl₂ 5 mM dTMP 6 mM ATP 酵素 0.04 g/L 37°C、終夜 (オーバーナイト)

使い方 研究およびin vitro用途にのみ使用してください。

保管・発送情報

保存方法 -20°C